

東京いいで会

平成16年3月発行

2004
第2号

きのこ汁

くひつつおもふ

祖母の

乳房にすがりて 我はねむりけむ

斉藤 茂吉『あらたま』より

中津川地区より
飯豊山を望む
飯豊町 提供!

新会長の就任ごあいさつ

谷本 亮司 (黒沢)

昨年の総会前に、木村会長が突然体調を崩され、入院加療中と言う事で私が会長代行を勤めさせて頂きました。木村会長には多くの方々から励ましのお言葉を頂き、現在自宅養療にて順調に回復されております。皆さんに宜しくお伝え下さいとの事、報告申し上げます。6月に、木村会長より会長辞任と強いご要請もあり、お引き受けいたしました。諸先輩が育んだ「ふる里への想い」を大切に継承し会員の皆さんと役員の協力にて、本会の発展に頑張っております。ご支援ご協力を賜りたく宜しくお願い致します。

また、会員の皆さん、身近な事でも何でも結構ですから本会に対するご意見等を広報部、地区役員まで気軽にお寄せ下さい。今後も、ふる里飯豊町との交流を深め、町の息吹もお伝えし『皆さんに愛される会報』を目指して発行に当たります。

東京飯豊会は、2年後に45周年を迎えます。

今後共、本会へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

前会長退任のごあいさつ

木村 武 (萩生)

昭和30年代から50年代にかけて故郷、飯豊の山河を後にした私達。都会のビルの砂漠での生活が始まった。そして、先人の愛郷の精神に燃えるの方々により同郷会が生まれ、育てられ、現在、大きな触れ合いの集いとなっている。これは宝であり、財産である。つらい時には冬の故郷を思い起こし、楽しい時には夏の故郷を思い出す。

故郷は大きな夢と希望を与えてくれました。

故郷を共有する者は皆、大家族のようなもの。

互いに健康を気づかい、年に1度集うて確かめ合う、そのような絆を持ち続けたい。

最後になりましたが七代目会長就任4年間、会運営につきましても、当会にかかわる皆様方にご協力、ご支援賜り厚く御礼申し上げます。

皆様の御健勝お祈りし、同郷会の継続と会を育む豊かな心を信じ退任の挨拶とします。



◎東日本最大級のゆり園

来園者数七万五千人に！

六月七日、どんでん平ゆり園がリニューアルオープン。当日は、町内外より約二千人を越す来園者で会場は賑わった。先着千名の方にゆりの苗がプレゼントされ、訪れた人はようやく咲き始めたゆりを見ながら広い園内を散策した。また、結婚披露宴が園内で行われ、オープンに花を添えた。

七月上旬には、大花火大会が催され、町民に無料開放した。また、日本観光協会が主催する「花の観光地づくり大賞」で、努力賞および花の心賞を受賞した。今年度は、約七万五千人の来園者数となった。



◎添川温泉「しらさぎ荘」新浴室棟がオープン

設備も充実！

十月一日、添川温泉「しらさぎ荘」の新しい浴室がオープン。オープン当日は約八百人の利用があった。従来の施設と比べると、浴室で二・二倍、浴槽では二割増、洗い場で二倍、脱衣室は二・五倍の広さで、サウナや露天風呂も広くなったほか、トルマリン鉱石を使った特殊湯質の寝湯が新たに整備されている。また、全館床暖房となっており、全体的に光を取り入れた明るい施設。現在、本館の食堂や宿泊棟は休業中で、一月の全面改装オープンされた。

飯豊町にお越しの際は、是非お立ち寄り下さい。

◎飯豊町女性消防隊全国女性消防操法大会出場

準優勝に輝く！

十月二十三日、日本消防協会中央消防訓練場(横浜市)において、第十六回全国女性消防操法大会が行われ、山形県代表として、飯豊町女性消防隊が出場した。隊員達は十五カ月間にもおよぶ厳しい訓練を積み重ねた成果を十分に発揮し、見事、準優勝に輝いた。また、最優秀隊員として三名が選ばれるという快挙を成し遂げた。後日、東京ドームで開催された「自治体消防五十五年記念大会」で、操法を披露した。



◎次代につなぐやまがた景観賞

中津川白川湖周辺！

山形経済同友会の「次代につなぐやまがた景観賞」が行われ、中津

川白川湖周辺が、山形県知事賞に輝いた。これは、山形らしい景観を守りながら、地域活性化に結びつけようとの狙いで行われたもの。飯豊連峰のフォレストいいでや白川荘などホテルや温泉施設、オートキャンプ場が点在しており、訪れる多くの人が、周辺の緑豊かな眺望を満喫できる。

◎ふるさとCM大賞

タイトル「笑顔」

今年で四回目となるYTS(山形テレビ)主催の「ふるさとCM大賞」。全国的に反響を呼んでいるこの企画。今年度、飯豊町は入賞できませんでしたが、とてもきれいな仕上がりとなっているのは間違いなしです。一度のぞいてみて下さい。

- 飯豊町CM(各三十秒)
- 二〇〇〇年 優秀賞
- 二〇〇一年 ユーモア賞
- 二〇〇二年 最優秀賞
- 二〇〇三年 参加賞

※町のホームページで過去の作品もご覧になれます。

しおどめ (汐留)

伊藤 清一 (椿 出身)

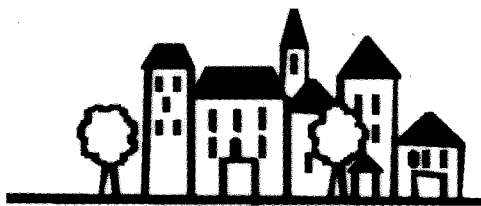
『汽笛一声新橋を・・・』で始まる鉄道唱歌は、皆さんもご存じの事と思います。東海道新幹線で終着東京駅近くになると必ずバックミュージックとして流れてきます。

1872年(明治5年)に日本鉄道の開業がここ汐留(旧新橋駅)から始まり、1914年(大正3年)新設の東京駅に旅客ターミナルの機能が移り、旧新橋駅は、貨物専用の汐留駅と改称、物流の大拠点として戦前戦後を通じて東京の経済活動を支えました。皆さんは、国道の0マイル標識は日本橋にある事をご存知でしょう。

鉄道の0マイル標識は汐留駅に有ります。私は貨物輸送に携わり、汐留駅で1982年鉄道開業100周年記念行事にも参加する事が出来ました。

最近東京周辺もベイエリア、水辺ライン、リバーサイドなど変化しています。六本木・汐留・品川等すばらしい開発が進められて、ややもすると過去が忘れられてしまうような事が資料館等に展示されています。未来を見つめる事も大事ですが、たまにはゆっくりと昔を振り返るゆとりが新たな発見につながる様な気が致します。

皆さんも、今後そんなつもりで街を見直されたら如何でしょうか。



懐かしき東京飯豊会

長谷川 次男 (手ノ子出身)

- ◎ ホームにて 嬉し恥かし 看護の手
- ◎ 初孫の 何を祈るか 紅葉の手
- ◎ 孫の顔 涙うかべて励む リハビリに
- ◎ ボケ老人 セクハラごとき 手を伸ばし
- ◎ 年老いて 福祉国家に 手を合わせ
- ◎ 名月を 浮べてたのし 茶わん酒

東京飯豊会の皆様お元気ですか?

東京を離れ飯豊町にUターンして、早いもので27

年、4年前、脳内出血で倒れ良くて寝たきり、悪ければ植物状態と言われましたが家族・兄弟・姉妹・廻りの皆さんのあたたかい励ましで、奇跡的な回復をいたしました。

今現在、左手、左足のマヒで車椅子の生活ですが、リハビリに励み今一度歩ける日を夢見て頑張っております。

あのころ飯豊会の役員をさせていただき、沢山の友人達と楽しい時を過ごした事を思い出し、なつかしく思っています。又、妹が役員をさせていただいていると聞き嬉しく思います。東京飯豊会のみずみずの発展を心からお祈りいたしております。

東京飯豊会42回総会と納豆餅

齊藤 ふみゑ (手ノ子出身)

3月2日(日)第42回東京飯豊会が開催されました。ちまたの女兒を囲む家庭では『ひな祭り』の前日で、ジーちゃん、バーちゃんのお呼ばれが有れば出席者も少ないのではと心配されたのですが、多数の参加を頂きました。1年振りに合う人々の満面の笑顔のオンパレード。会の運営報告、挨拶、祝辞等付きものですが、滞りなく無事終了。

いよいよ、裏方が準備している『納豆餅』の出番です。例年通りにつきたての餅と納豆、醤油、ネギを準備、「今年の餅はやっこいけど食べる頃には丁度良くなるネ」と次々皿に盛り上げます。私達の小さい頃は、実家でも『ペッタンペッタン』父がついて母がかえして『ほら ウスのはただ』と納豆餅を一口!皆さんも覚えがありませんか・

一方、餅係りの役員は『チョッと味見!!』と称してウスの端ならぬ、餅ケースの端です。会員の皆様より一足お先に失礼・・・。

『狭山太鼓』の勇壮な響きがお腹にしみ込みます。汗だくの熱演に大感動でした。アルコールも大分まわり『あんた、あそこん家の何番目?同級生いたっけか?』と毎年同じ事を聞かれてれている気がするのですが・・・その後の大抽選会も、悲喜こもごも、当たった方お目出とうございます。残念だった方は次回に期待して下さい。最後に(ふるさと)の大合唱で楽しかった総会は終了です。又、来年も元氣な顔でお会いしましょう。



平成15年度年会費賛協力者ご芳名（敬称略）

[黒沢]	井上和雄 木村スエヨ 手塚照代 峯村和夫	井上七郎 後藤行男 中本貞夫 峯村広義	梅津勝美 小林 秀 鳴海拓見 山本忠男	梅津茂夫 佐藤 澗 原あや子 渡部悟平	遠藤ミヨ子 佐藤忠志 原田洋子 渡部 隆	柿間和子 島貫富栄 平山くに 大田節子	菊地トシ子 滝本満子 丸山さく 小野悦郎
[小白川]	安部利夫 小野幸一 佐原政晴 二瓶孝徳	安部春次 片岡豊子 佐原長喜 舟山二男	石島サダ 菊地健三 鈴木すい子 舟山睦男	伊藤しげよ 菊地 守 平 君代 舟山吉次	大石 亨 小泉勝利 高橋八郎 的場京子	古内昇三 田辺泰夫 溝呂木清治 上原和子	佐原芳弘 千葉マサヨ 吉澤とみ子 宇田京子
[添川]	芦川裕子 梅津 勲 勝見俊秀 斉藤良一	荒木ふじ子 遠藤 清 勝見祐市 佐藤よね子	伊藤憲子 遠藤啓次 金子アサノ 志田俊作	井上貞行 大沢陽子 木村優子 鈴木孝男	上野文次 岡安弘子 金原ちえ子 鈴木のぶ	小川節子 小松 巖 高木新吾 二瓶吉男	奥沢とし子 小松勇吉 高橋幸男 野口義夫
[高峰]	高橋はま子 長谷川純一 井上志げ 小幡フミノ	田中とし子 早坂千代子 井上庄栄 寒河江一三	中山みえ子 村田忠一 井上武雄 佐藤 剛	新野善行 森 博子 井上 敏 佐藤勇吉	二瓶文夫 山水まさ 井上秀子 鈴木清子	米野清孝 内田運二 高橋隆夫 矢部みを子	沖田みえ子 竹田昭吾 山本エイ子
[椿]	横山文男 安部貞夫 上原三男 黒野ミサ子	伊藤一敬 上原ハルヨ 後藤キミ 手塚三男	伊藤董男 岡本輝子 小林まち 新野捷敏	伊藤勝夫 香川法子 斉藤聖子 新野豊明	伊藤幸輔 加藤洋子 志田光雄 松山倉夫	伊藤順康 川嶋トシ子 高橋叔子 渡部司郎	伊藤清一 菅野栄三 高橋弘子 坂下浩安
[手ノ子]	高橋ふみ 池田典子 佐山七郎 長沼ミエ	宇津木哲夫 佐山次夫 舟山好一 渡部昭雄	大野シズエ 島田源三 舟山繁勝	奥山俊昭 鈴木貞次 卷坂 衛	奥山保弘 高石京一 村山久子	今吾一 田中二男 空代忠恒	横山ユウ子 田中かつ子 横山ユウ子
[中]	渡部昭雄 青木勝美 位下和子 木村貞江	青木道子 井上美江子 木村幸子 鈴木昭作	青木しげ子 臼井八重子 熊谷定善 鈴木梅子	朝倉重美 大石昌子 栗原睦子 鈴木謙治	朝倉 健 奥山和子 篠原五郎次 鈴木 昌	安達宮子 小黒八重子 渋谷信子 諏訪美恵子	栗飯原操 菅野義徳 島貫 浩 高田信子
[中津川]	田所昌子 福島ミヨ子 伊藤公八 織田英昭	長岡信司 松原智恵子 伊藤孝美 後藤昭輔	長岡俊昭 村上徳栄 伊藤三吉 近藤和子	長岡雄三 渡部清三 伊藤茂(小屋) 佐藤栄子	新留静子 渡部聡征 伊藤茂(数馬) 宍戸カツ子	野原致子 渡部秀治 井上啓助 鈴木芳助	広田南海子 渡辺さい子 井上良子 山口和吉
[萩生]	横山建司 秋保みち子 大家梅子 黒澤武彦	朝倉栄次 小笠原吉次 後藤悦男 佐藤 晃	浅間朝子 小野寺瑠璃子 後藤勝男 佐藤政春	伊東武義 折原うめ 後藤定夫 志田洋子	宇津木栄三郎 粕川鉄男 後藤節子 柴田かね子	宇津木秀三 嘉藤秀一 小林スイ 東海林房子	宇津木吉美 木村信夫 近藤エツ 鈴木俊子
[役員]	高橋勝治 谷口秀子 長谷川トク 藤沢玲子	高橋茂夫 手塚 太 長谷部盛吾 前島義子	高橋四郎 富永信子 樋口 孝 森田希世	高橋富榮 中西 孝 樋口昭三 屋島康二	高橋みつ 中山淑子 樋口則夫 屋島康弘	滝浪とも 那須キヨ子 樋口美知夫 山口綾子	田口朋子 芳賀光子 廣瀬廣子 山田正子
[役員]	吉越 京 浅野慶吉 木村 武 斉藤ふみえ	渡部新吾 今村ひろ子 国分秀高 志田義雄	渡部とく 池田さだ 小関恭雄 志田幸次	小川悦男 幸田あや子 鈴木伊勢夫 中村美寿	小笠原辰男 佐原利博 須藤勝志 中澤サタ	男鹿善次 佐藤善治 高橋正孝 長沼 清	川合かよ子 佐藤包子 谷本亮司 新野孝司
	土田正一 樋口昭二 山口弘二	手塚敏浩 樋口勝雄 横山忠雄	手塚久雄 舟山繁太郎 吉田キヌヨ	中村美寿 深瀬忠次 渡部志郎	舟山 忠 宮城慶吾	八鍬勝夫	

会員皆様の賛同を得ここに第2号会報発行が出来ました。ありがとうございました。

東京飯豊会会則

- 第1条 本会は東京飯豊会と称する。
- 第2条 本会は山形県飯豊町出身者で、東京および東京近県内に居住する者で組織する。
また、出身者の縁故者で希望するものは入会を許可する。
- 第3条 本会は会員の親睦と郷里との交流等に関する事業を行い、これらを通じて互助共栄を図ることを目的とする。
- 第4条 会員は会の維持費として、一家族当たり年間1500円の会費を納入するものとする。
本会の経費は会費及びその他寄付金をもってこれに当てる。
但し、会員の事情により会費を納入できない場合は、役員会の決定により免除することができる。
- 第5条 本会は下記の役員をおく。
- | | | | | | |
|------|----|------|-----|-----|----|
| 会長 | 1名 | 副会長 | 若干名 | 幹事長 | 1名 |
| 副幹事長 | 2名 | 事務局長 | 1名 | 会計 | 2名 |
| 会計監査 | 2名 | 幹事 | 若干名 | | |
- 第6条 会長の選出は役員会が行い、その他の役員は会長が任命する。
- 第7条 役員任期は2年とし、再任を妨げない。
- 第8条 役員職務に関すること。
- 1.会長は本会を代表して会務を総括する。副会長は会長を補佐する。
 - 2.幹事長は会長の指示により役員会を召集し、立案・運営する。副幹事長は幹事長を補佐する。幹事は実務を担当する。
 - 3.事務局長は本会の事務全般を立案し、役員会に諮る。
 - 4.会計は会費の徴収、予算の立案を行い、決算報告を総会において行う。
 - 5.会計監査は会計及び財務について監査し役員会及び総会に報告する。
- 第9条 本会に最高顧問、顧問、相談役をおくことができる。
最高顧問、顧問、相談役は役員会の議決を得て会長が委嘱する。
- 第10条 本会の総会は年1回開き、会計、人事、事業等運営に関する事項を報告する。
- 第11条 本会の運営は会の目的遂行のための事業を、総て会長の招集する役員会にて協議し決定する。
- 第12条 本会の運営は五役会にて立案し、役員会において決定することができる。
五役会は会長、副会長、幹事長、会計、事務局長にて構成する。
- 第13条 会員はその住所、氏名を本会に通知することを要する。その後の変更時は遅滞無く通知するものとする。
- 第14条 本会則の変更は役員会の議決を経て、これを決する。
- 第15条 本会の事務所は事務局長方に置く。

付 則

- 1.本会は1年に1回会報を発行する。
- 2.本会則は平成15年12月1日より実施する。

故郷を想う

伊東 武義 (萩生出身)

第43回東京飯豊会が開催されるに当たり心からお喜びを申し上げます。

山岳地帯に囲まれ、豊かな実りに包まれた郷土を離れて凡そ半世紀が過ぎましたが、一時も忘れられない心があり、故郷を想うと人生満悦感一杯です。豊かな地形にあったかい人々が住む。『じっちゃ・ばっっちゃ・まっっちゃ・かかちゃ・あんちゃ・・・』と呼び合う町が好きだな。

雨の日も、雪の日も越後の贅女(ごぜ)様や海産物・雑貨物などを売る

背負子さん達が家々に回る光景が脳裏に焼き付き想い出される。

あれから50年! 時は経つが故郷を想う心に動揺がなく、ますます、町民愛郷心が高揚する今日この頃。

萩生城址の小学校といい、山王原の中学校といい、町唯一の高校といい、統合によって無くなったのは非常に寂しい。2年前その中学校を卒業した同級生が還暦を迎え、記念文集『絆』の編纂にあたって歩いた中学校の跡に校門松が当時の場所で生き

て育っていた事が心を癒してくれました。

萩生・椿・手ノ子の各駅舎は、小さくなって駅員も居ない無人駅、この世は、車社会科から物流宅急便が急増して貨車扱いの丸通もとうに無くなっていた。萩生駅前にあった役場も移転していた。世の移り変わりは当然のこと。ただ、飯豊・朝日連峰からの清流によって出来た日本一美しい田園散居集落風景だけは壊すことなく、自然で豊かな風景が心癒される故郷である。

こんな故郷をいつまでも残し続けて欲しい。また、各地区で「ゆり・黒べこ・荒獅子・かかし・雪・山菜・めざみの里」などの『各まつり』を毎年盛大に開催されている町は、想像を絶するものです。役場・議会・町民のみんなの心が一つになって出来るもの。こんな立派な誇りを持てる郷土をつくり続ける町民に“万歳”“ありがとう”と申し上げたい。

町の花「ゆり」



『萩生小学校の同級会』東京で行う

山田 正子 (萩生出身)

今年の飯豊町萩生小学校、昭和25年卒業の同級会が東京方面でと言う希望で、9月6日に開催いたしました。とても暑い日でした。

お台場で工作船を見学し、水上バスで、宿泊先の「ホテル シーサイド江戸川」で23名の出席で賑やかに一夜を過ごしました。

次の日9月7日この日ばかりはとても涼しくて、朝から東京デズニールランドで乗り物に乗ったり、パレードを見たり童心に返り1日を過ごしました東京駅で萩生の同級生を見送った後、誰からともなく『こんど何時逢える・・・? 3月7日東京飯豊会よ』

1年も前から予定を建てて下さり、会場に行けば暖かく迎えて下さいます。何のお手伝いもしないで悪いなあと思いつつも甘えています。又今年も新しい出会いが有るか楽しみにしています。故郷からのお客様も来て頂いて・・・。東日本最大のゆり園がオープンされた由。個人では見頃に合う様に行けなくて、飯豊会では是非企画して頂き連れていってください。お願い致します。

『我が一人鈴木と子規の彼岸かな』

鈴木 梅子 (中 出身)

実は初回到案内状を頂き、その折は私に雑念があった余り、不安半分、喜び半分の事ではありませんでした。

ほかの方々も同様に考えておられた方も私の所へ、『どんな方々がお集まりになられるのか?』と、問い合わせもチラホラ。しかし、現在では、あつかましく総会で皆さんとお会いできる楽しみに変わり、また機会を待つ年代になりました。「現在元気に『東京飯豊会』に出席させてもらう喜びに変化して来ました」とお便りを頂く今日、皆さんも私と同様そうやって来ておられるのか、と複雑な心にもなります。

去る4月吉日には『東京飯豊会』兼『同級会』とでも言えるでしょうか、楽しい桜見物にお誘いを頂き、都内水元公園に足を運びました。

いつときの 寛ぎありて 春の園

葉山路に 月下美人を 想う秋

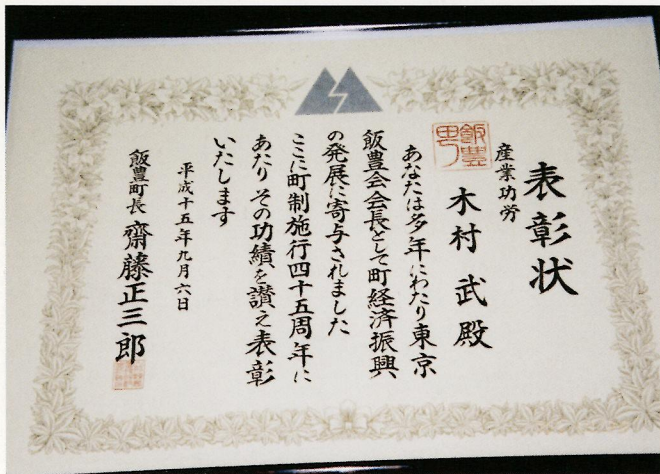
愛子様 何処彼処 皆十二月

親子して 喜び幾重 梅二月(小さな句集より)

飯豊町町制執行45周年式典に 産業功労賞授与

飯豊町より 前会長木村 武さんへ!!

木村さんは、昭和60年に会の萩生地区幹事役に就き、その後、会計幹事もされ、平成5年から、幹事長として会長の補佐をされました。会長に就かれてからは、郷土ふる里との交流にご尽力され、ふるさと会を盛り上げた功績に評価を受けての受賞でした。



皆様一寸聞いて下さい

佐藤 包子 (小白川出身)

私は飯豊から出てきて41年になりましたが、田舎でも見た事がない出来事に会いました。それは大都会東京の真ん中とは言えませんが、埼玉までは直ぐという近い所に私の家が有ります。

ある日突然に何処からとも無くギャーギャート恐ろしい鳴き声、又物音が真夜中の2時~4時頃には必ずするので。私は仕事から帰るのがその時間なので、



私も毎日寝不足が続き大変でした。初めは恐ろしいやら怖いやら、主人を起こして見たところ小タヌキが4匹もおり、親タヌキも居ました。どれが父さんか母さんか分からない大きいのもいました。昼間は何も無い様にひっそりです、あの広い土地には以前多種の動物がいました。

そこへ445世帯のマンションが出来た為そこから来たのではないかとの事です。

今は道路でも見かける事がありますが我が家に来るとは・・・でも今では慣れてきてとても可愛いくらいです。動物好きの私には主人の食事は待って貰ってでも、ネコ・タヌキ君たちの方が先になっています。

来年は又来てくれるのか、それともこのままかと思うと一寸ね・・・と近所の人達と話題にしています。

ふる里を描く

手塚 久雄 (萩生出身)

ふる里を後にして四十余年、第一戦で海外を飛び回り田舎を振り向く事すら難しかった現役を3年程前に退任、毎日が日曜日のシニア軍団へ仲間入り。夢だった「絵三昧」の暮らしをちよっぴり感謝しエンジョイしている。

絵を描き創めてから、美しい自然と伝統にはぐ生まれた『ふる里いいで』の素晴らしさに改めて感動!雄大な飯豊山を取り巻く情景、今も残る茅葺の家屋、懐かしい祭り等、絵となるモチーフ(描写材料)も豊富で「ディスカバーふる里」よろしくスケッチブックとキャンバスを抱えアクティブに田舎を飛び回っています。掲載した絵は昨年、萩生の祭りを油彩で描いたもので畳三分の二くらいの大きさです。

僭越ですが今年の東京飯豊会総会会場に展示させて頂きました。いつの日か田舎で個展を開く夢を追いながら、これからも懐かしい「ふる里いいで」を描き続けたいと思っています。





イベント狭山けやき会による和太鼓・熱演



お世話役（役員さん）いつもありがとう



編集後記

中津川地区の雪まつりフェスティバルのころ、東京より南へ2000Km余り、八重山諸島に行った。桜散り夏でした。

ハイビスカスが咲きみだれ、半ズボンと、Tシャツで子供達が遊んでいました。その島々にも人口減と産業振興の対策が語られ、そしてふるさとの祭りには島(ふるさと)を目指して、定期船が欠航していても駆けつけるとか(聞いた話ですが・・・)

“望郷の想い”は全国共通です。そしてふるさとを離れる人がいる限り『ふるさと会』は永遠です。

心をつなぐ『会報』をゆたかにして欲しく、次回の発行の為に会員皆様からの《原稿》と《御意見》をお寄せ下さい。

広報担当 高橋(中津川出身)

広報部長
高橋 正孝

TEL&FAX 043-278-5229

〒261-0011

千葉県美浜区真砂1-11-12-105

事務局長

志田 義雄(椿) TEL 049-244-3940

〒356-1136 川越市下新河岸69-66

E-Mail smile.y_shida@at.wakwak.com



INFORMATION

2003年6月オープン

■開園期間 6月中旬～7月中旬

■開園時間 AM9:00～PM8:00

お問い合わせ

いいでどんでん平ゆり園

〒999-0602 山形県西置賜郡飯豊町大字菰生3411-1

TEL.0238 (78) 5587

